

4 喫煙

(1) はじめに

たばこによる健康被害は、国内外の多数の科学的知見により因果関係が確立しています。

具体的には、がん、循環器疾患（脳卒中及び虚血性心疾患等）、COPD*（慢性閉塞性肺疾患）、糖尿病及び周産期の異常（流産、早産、低出生体重児、死産及び乳児死亡等）の原因になります。受動喫煙*も、虚血性心疾患や肺がんに加え、乳幼児の喘息や呼吸器感染症、SIDS*（乳幼児突然死症候群）の原因になります。

たばこは、受動喫煙などの短期間の少量の吸入によっても健康被害が生じますが、禁煙することによる健康改善効果についても明らかにされています。

特に長期の喫煙によってもたらされる肺の炎症性疾患で、咳・痰・息切れを主訴として徐々に呼吸障害が進行するCOPDは、国民にとって極めて重要な疾患です。比較的新しい疾患名であることから十分認知されていませんが、発症予防と進行の阻止は禁煙によって可能であり、早期に禁煙するほど有効性は高くなります。

このことから、たばこ対策の着実な実行が求められています。

(2) 基本的な考え方

たばこ対策は、「喫煙率の低下」と「受動喫煙への曝露状況の改善」が重要です。

喫煙と受動喫煙は、いずれも多くての疾患の確立した原因であり、その対策により、がん、循環器疾患、COPD及び糖尿病の予防において、大きな効果が期待できます。そのため、たばこと健康について正確な知識を普及する必要があります。

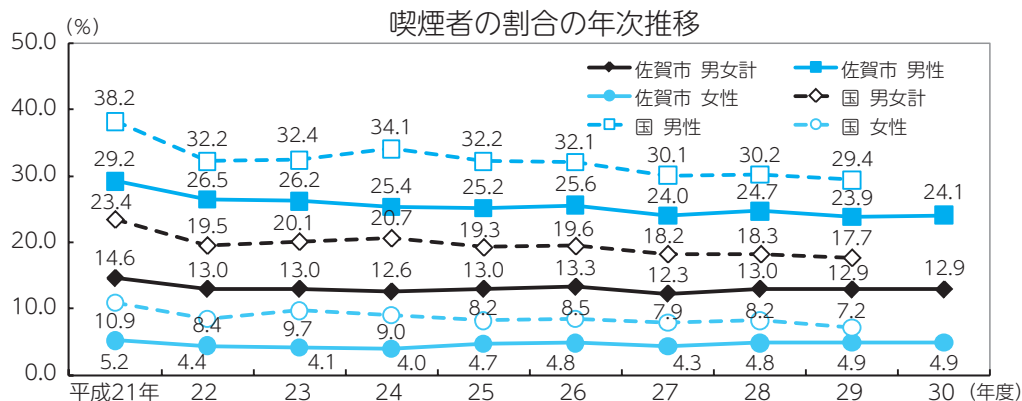
特に、受動喫煙については、平成30年7月の健康増進法の改正により、「望まない受動喫煙をなくす」ために受動喫煙防止措置が強化されました。事業所や飲食店等への周知が必要です。

(3) 現状と目標

ア 成人の喫煙率の減少（喫煙をやめたい人がやめる）

喫煙率の低下は、喫煙による健康被害を確実に減少させる最善の解決策であることから、指標として重要です。

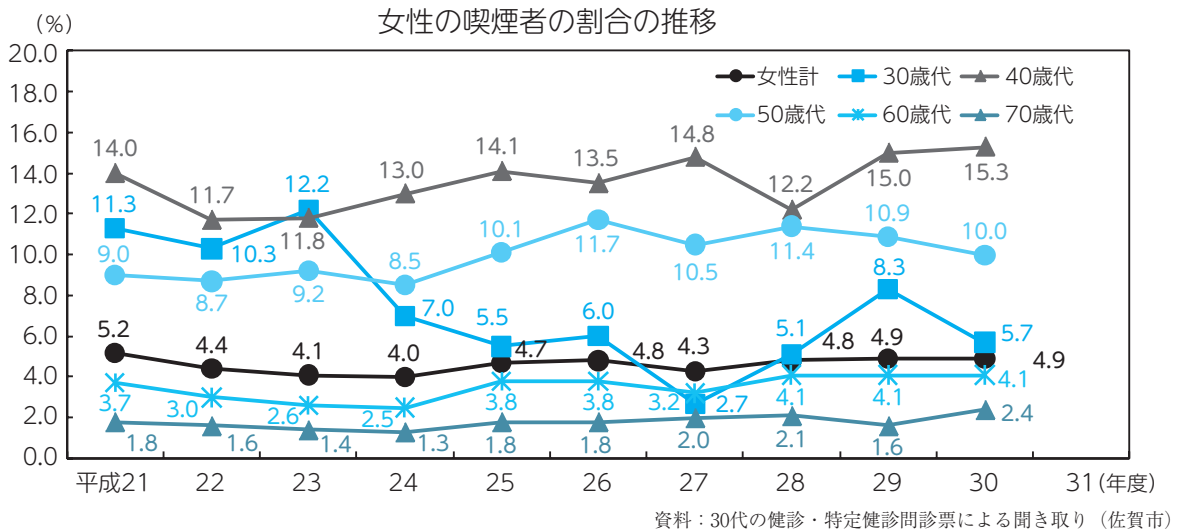
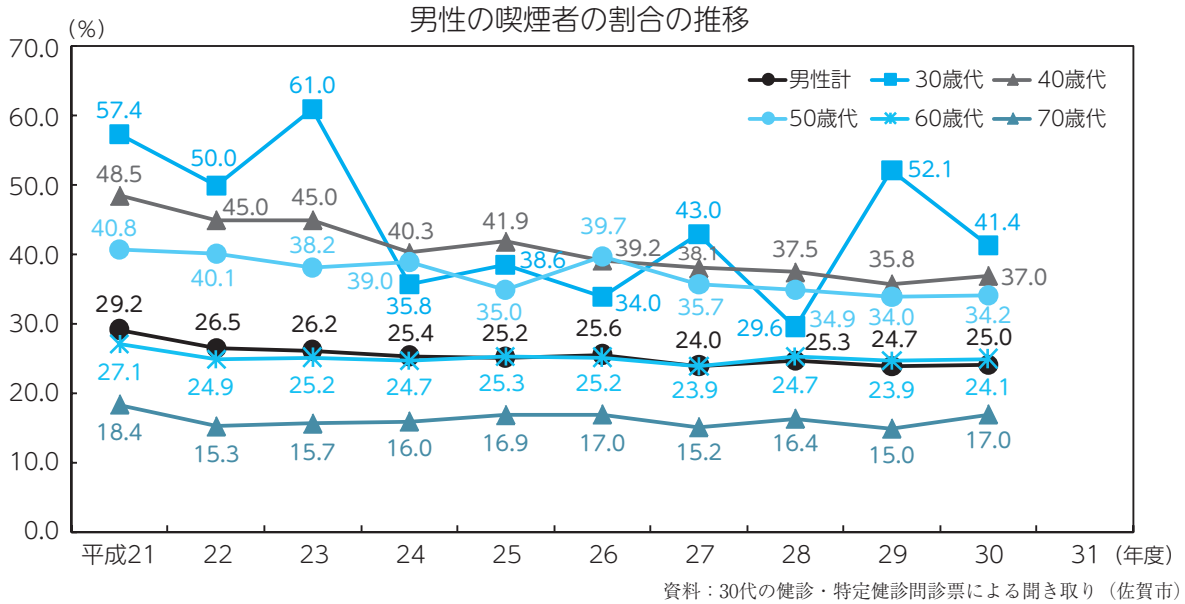
本市の健診結果から、成人の喫煙率をみると、全国と比較して男女とも低く推移していますが、ほぼ横ばいの状況であり、全国との差が小さくなっています。



*国の喫煙率：厚生労働省 国民健康・栄養調査結果 喫煙の状況の「現在習慣的に喫煙している者の割合の年次推移（20歳以上）」
佐賀市の喫煙率：30代の健診・特定健診問診表による聞き取り

年代別喫煙率を比較すると、平成30年度では男性は30歳代、女性は40歳代が最も高くなっています。

たばこに含まれるニコチンには依存性があり、自分の意思だけでは、やめたくてもやめられないことが多くあります。今後は喫煙をやめたい人に対する禁煙支援と同時に、健診データに基づき、喫煙によるリスクがより高い人への支援が重要です。



イ 未成年者の喫煙率の減少

未成年期からの喫煙は健康的な影響が大きく、かつ成人期を通じた喫煙継続につながりやすいことから、家庭や学校等での受動喫煙防止対策や未成年者への啓発、指導等による取り組みを推進します。

ウ 妊娠中の喫煙率の減少【再掲：「次世代の健康」P52】

妊娠中の喫煙は、流産・早産など妊娠合併症のリスクを高めるだけでなく、児の低体重、出生後のSIDS（乳幼児突然死症候群）のリスクも高めます。

このため、妊娠中の喫煙を防止するための取り組みを推進します。

※妊娠中の喫煙に関する統計については、「次世代の健康」P52に掲載

エ 受動喫煙の機会の減少

望まない受動喫煙を生じさせないことにより、肺がんや虚血性疾患、成人及び小児の喘息等の呼吸器疾患による入院を減少させるなど、受動喫煙防止策は確実な健康改善効果が期待できます。

■禁煙・完全分煙認証施設[※]数

	平成17年度	平成21年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
市	323件	432件	577件	611件	612件	623件	630件	629件
県	963件	1,528件	1,924件	1,980件	2,035件	2,044件	2,083件	2,115件

資料：佐賀県健康増進課調べ

(4) 対策

ア 喫煙のリスクに関する教育・啓発の推進

- COPDに関する知識及びその予防に関する普及啓発
- 種々の保健事業の場での禁煙の助言や情報提供（母子健康手帳交付、乳幼児健診・相談及びがん検診等）
- 小・中学生に対する防煙教育の実施（県の方針に基づき実施）
- 学校保健・職域への情報提供
- 市報・ホームページ・イベント等で喫煙リスクについての情報発信

イ 禁煙支援の推進

- 健診の結果に基づいた禁煙支援・禁煙治療への個別指導
- 禁煙治療を行う保険適用医療機関等の情報提供

ウ 受動喫煙対策の推進

- 「望まない受動喫煙をなくす」ための法改正に関する周知
- 禁煙・分煙対策推進のための普及啓発
- 路上喫煙禁止区域の広報・周知

(5) 評価項目

ア 成人の喫煙率の減少

男性の喫煙率		
基準値 (H25)	中間実績値 (H30)	最終目標値 (R5)
25.2%	24.1%	減少傾向へ
女性の喫煙率		
基準値 (H25)	中間実績値 (H30)	最終目標値 (R5)
4.7%	4.9%	減少傾向へ

イ 妊娠中の喫煙率の減少（再掲：「次世代の健康」 P62）

妊娠中の喫煙率		
基準値 (H25)	中間実績値 (H30)	最終目標値 (R5)
4.0%	2.5%	減少傾向へ

ウ 受動喫煙の機会の減少

禁煙・完全分煙認証施設数		
基準値 (H25)	中間実績値 (H30)	最終目標値 (R5)
577施設	629施設	増加傾向へ